

2025年4月17日

株式会社三菱UFJ銀行

Plug and Play Japan による「 Plug and Play Japan Fund I 」への出資について

今般、株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、日本発のスタートアップのグローバル展開を支援し、日本から継続的にユニコーン企業を生み出すことを主たる目的として、「Plug and Play Japan Fund I」（以下 本ファンド）に対し、アンカーLP 投資家として出資いたしました。

当行は、シリコンバレーに本拠地を置く Plug and Play の長年のコーポレートパートナーです。2017 年の日本への本格進出の際には、日米で密に連携し日本でのビジネス展開を全面的に支援、今日に至るまで Plug and Play および Plug and Play Japan とともに、日本国内におけるオープンイノベーション活動を協働して行ってまいりました。

今回、Plug and Play および Plug and Play Japan にとって日本国内で初めてとなるファンドを組成し、運用を開始いたします。日本発のスタートアップをグローバル市場に早期かつスムーズに進出、その優れた技術を広く国内外に展開しスタートアップの成長を加速度的に促進、日本発のユニコーン企業を創出するという本ファンドのビジョンは、当行の目指す姿と正しく合致しており、当行はアンカーLP 投資家としての役割を担うことになりました。

当行は引き続き Plug and Play とともにスタートアップエコシステムを牽引し、日本発のスタートアップの創出および育成を推進してまいります。

< Plug and Play Japan Fund I 概要 >

ファンド名	Plug and Play Japan Fund I 投資事業有限責任組合
投資ステージ・領域	シード・アーリーステージのスタートアップ・ 日本：サステナビリティ、AI、SaaS、DX、フィンテック分野 海外：日本市場との親和性の高い「最先端分野」（日本市場に展開予定または展開希望の企業が対象）
投資家	無限責任組合員：Plug and Play Japan 株式会社 有限責任組合員：株式会社三菱UFJ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構、東急不動産株式会社、株式会社サザビーリーグ
ファンド規模	50 億円想定
運用期間	10 年間（2 年までの延長オプションあり）

以 上